

令和2年度 元気なふるさとづくりミーティング開催要領（案）

北海道総合政策部地域創生局地域政策課

1 開催趣旨

道では、平成25年3月に「北海道における集落対策の方向性」を策定し、これまで本方向性に基づき集落対策を進めてきた効果もあり、現在では、集落を抱える全ての市町村において、集落対策が実施されている。今後は、市町村における更なる取組の促進を図るため、地域において主導的な立場にある市町村職員等を対象とし、集落対策の先進事例を現地視察するとともに、有識者を交え現地の取組状況を踏まえた意見交換会を開催する。

2 視察先（案）

地 区	視察先（案）		主 な 分 野
後志	視察先①	連携プロジェクト （喜茂別町、留寿都村、神恵内村）	地域おこし協力隊、地域の魅力発信
	視察先②	株式会社キットブルー （神恵内村、岩内町、泊村）	地域資源活用、地域の魅力発信
	視察先③	NPO 法人どりーむ・わーくず （余市町）	就労支援
	視察先④	神恵内村魅力創造研究会 （神恵内村）	地域の魅力発信
釧路	視察先①	標茶町商工会 （標茶町）	買い物支援（出前商店街）
	視察先②	くしろ元町青年団 （釧路市）	地域の魅力発信
	視察先③	市民団体クスろ （釧路市）	地域の魅力発信
	視察先④	一般社団法人音別ふき路団 （釧路市（旧音別町））	就労支援、地域資源活用
日高	視察先①	風極プロジェクト （えりも町）	地域の魅力発信
	視察先②	一般社団法人umanowa （新ひだか町）	地域おこし協力隊、地域資源活用
	視察先③	浦河リノベ部 （浦河町）	空き家活用
	視察先④	浦河町まちなか元気ステーション （浦河町）	高齢者支援
宗谷	視察先①	地域コミュニティ形成事業 （幌延町）	地域おこし協力隊、集落支援員、地域運営組織
	視察先②	中野商店 （中頓別町）	地域おこし協力隊

※ 上記候補に限らず（総合）振興局からの推薦があったものも候補とし、日程調整などを行い、視察先を決定する。

3 同行する有識者（1地区に2、3名程度）

※敬称略

所 属	役 職	氏 名
(株)石塚計画デザイン事務所	顧問	石塚 雅明
酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類	教授	井上 誠司
NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団	理事長	吉岡 宏高
(地独)北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所	副所長	松村 博文
北星学園大学	名誉教授	杉岡 直人
北海学園大学 工学部 生命工学科	教授	鈴木 聡士
(一社)北海道開発技術センター 地域政策研究所	所長	原 文宏

4 参集対象

市町村職員、集落支援員、地域おこし協力隊員、教育関係者など

5 定 員 各地区20名

2 視察先（案）

地区	視察先（案）		内容
後志	視察先 ①	連携プロジェクト （喜茂別町、留寿都村、神恵内村）	地域おこし協力隊、地域の魅力発信 3町村の地域おこし協力隊員の4人が、町村を越えて助け合う場を作るとともに、各自の得意分野を生かして後志全体を盛り上げようと「連携プロジェクト」に取り組んでいる。今後、道外の観光イベントで特産物を相互に紹介するなど計画している。
	視察先 ②	株式会社キットブルー （神恵内村、岩内町、泊村）	地域資源活用、地域の魅力発信 特産品のウニやナマコなどの輸出拡大に向け、3町村が連携して地域商社「株式会社キットブルー」を設立。ナマコやウニの増養殖の広域化により、出荷量や生産規模を拡大し、市場への影響力を高めるとともに、地域ブランド化や国内外の販路拡大など、水産業の復活に向け取り組んでいる。
	視察先 ③	NPO法人どりーむ・わーくす （余市町）	就労支援 「NPO法人どりーむ・わーくす」が、農業と障害者福祉が結びつく「農福連携」に取り組んでいる。障がい者が通いで働く場も開設。栽培が簡単で、手作業を必要とし、様々な加工に向き、農福連携に適した農産物として調理用トマトを栽培し、地元の農業活性化にもつなげている。
	視察先 ④	神恵内村魅力創造研究会 （神恵内村）	地域の魅力発信 地域おこし団体「神恵内村魅力創造研究会」は、自営業や介護士、村職員など様々な職種のメンバーで活動。フェイスブックで地元の風景や行事などを発信するほか、毎年5月には道の駅でイベントを開催。盆踊りと神恵内音頭を22年ぶりに復活させるなど、村の魅力の掘り起こしを通じた地域活性化に取り組んでいる。
釧路	視察先 ①	標茶町商工会 （標茶町）	買い物支援（出前商店街） 商工会を中心に、地元の小売業者が毎月3回、町の施設に食料品や日用雑貨などの商品を持ち寄り、高齢者が大半を占める地域で出前商店街を実施している。買い物弱者をサポートするとともに、高齢者の安否確認にもつなげている。
	視察先 ②	くしろ元町青年団 （釧路市）	地域の魅力発信 有志で結成した「くしろ元町青年団」は、若者や子育て世代が来て過ごしたくなるまちを目的に、釧路発祥の地とされる「元町」で、お寺で住民と一緒に食事するおてら食堂や地域を歩いて食材を集めるイベント、魅力を発信するMAPを独自に作成するなど、地域を盛り上げる企画を展開している。
	視察先 ③	市民団体クスろ （釧路市）	地域の魅力発信、クラウドファンディング 20代から30代の若者中心の市民団体「クスろ」は、新たな出会い・アイデア・アクションを生み出し続け、クスッと笑顔で過ごせる元気な街を目指し、釧路の魅力的な人を知ってもらうためのひとめぐりツアーや、クラウドファンディングで釧路の新土産となるキーホルダーを作成するなど活動している。
	視察先 ④	一般社団法人音別ふき落団 （釧路市（旧音別町））	就労支援、地域資源活用 「一般社団法人音別ふき落団」は、大地みらい信用金庫と連携し、また、日本財団「わがまち基金」と信金中央金庫の連携事業である「地域創生支援スキーム」による助成金（3か年、助成額1千万円）を活用し、音別特産の「落」の生産を通じて地域資源で稼ぐ仕組みを構築。障がい者等の新たな雇用創出とともに福祉サービスに依存しない持続可能な地域づくり事業に取り組んでいる。

地区	視察先（案）		内容
日高	視察先 ①	風極プロジェクト (えりも町)	地域の魅力発信 えりも高校のまちおこし同好会「風極プロジェクト」は、町の特産品を使った軽食を提供する高校生カフェを、襟裳岬の観光施設の風の館で開設するなど、えりもの魅力を広く発信する活動を続けている。
	視察先 ②	一般社団法人umanowa (新ひだか町)	地域おこし協力隊、地域資源活用 馬と子供がふれあう多彩なイベントや、馬産地 PR に取り組んできた地域おこし協力隊員が、「一般社団法人umanowa」を設立。馬産地であるが住民と馬の関係が希薄ともいわれる中、馬と人の橋渡し役として交流の輪を広げる活動をしている。
	視察先 ③	浦河リノベ部 (浦河町)	空き家活用 まちの将来に危機感を持った町内在住の若手有志が「浦河リノベ部」を結成し、賑わいの場を作ろうと、中心商店街の空き店舗をイベント空間やワーキングスペースに改装。自主イベントを企画するなど、若者の手で商店街を盛り上げている。
	視察先 ④	浦河町まちなか元気ステーション (浦河町)	高齢者支援 浦河町は、高齢者の健康増進や異世代交流のための拠点「浦河町まちなか元気ステーション」を町内のショッピングセンターMIOに開設し、介護予防のイベントや講習会、子供の屋内の遊び場など、お年寄りや親子連れが気軽に集まり、中心市街地がにぎわうきっかけを作っている。
宗谷	視察先 ①	地域コミュニティ形成事業 (幌延町)	地域おこし協力隊、集落支援員、地域運営組織 幌延町は、2019年度から5カ年計画で、将来にわたって過疎地域で住民が暮らし続けられる地域社会を目指し、集落の機能を維持させる「地域コミュニティ形成事業」を行い、将来は地域住民自らが主体となる地域運営組織等を作り、いつまでも暮らし続けられる仕組みの構築に向け取り組んでいる。
	視察先 ②	中野商店 (中頓別町)	地域おこし協力隊 観光振興などの業務を行っていた20代前半の地域おこし協力隊員が、約75年間にわたって地元で愛された老舗菓子店を引き継ぎ「中野商店」を開業し、昔からのお菓子も引き継ぎ、新たなお菓子作りにも挑戦。お菓子屋以外にも、何かまちでできることがあればと考え、中野商店というお菓子に限定しない名前をつけている。

※ 上記候補以外にも振興局からの推薦があったものも候補とし、日程調整などを行い、視察先を決定する。